

3 学校教育

【1】本校の社会的役割（スクール・ミッション）

- 1 地域の拠点校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創造する意欲を持った生徒の育成：【やいまを識り、やいまを守り、やいまを継ぐ】教育活動を実践し社会に貢献できる生徒の育成
- 2 主体的な生涯学習者として志のある自己実現を果たす生徒の育成

【2】本校の3つの教育方針（スクール・ポリシー）

1 生徒募集に関する方針（アドミッション・ポリシー）

中学校や地域での活動(日々の学習、生徒会活動・部活動・学級活動・ボランティア活動等)に積極的に取り組み、自らの可能性を追求し、個性を伸ばして自己実現をめざす生徒を歓迎する。

- ① 来たれ！学徳をみがく生徒
 - ・学問への飽くなき探究と豊かな人間性を目指し、自己の可能性を切り拓く努力を惜しまない生徒
- ② 来たれ！進取の精神で何事にも取り組む生徒
 - ・何事にも自主的・主体的に何事に取り組み、自分の考えを発信し、自己実現を目指す生徒。
- ③ 来たれ！雄飛する人生をめざす生徒
 - ・地球規模の視点で、自分をしり、やいまをしり、日本・世界をしり、他者と協働し創造性豊かに、若鷲のごとく果敢にチャレンジする生徒

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① 1・2学年で基礎教養科目を学び、3学年から文系・理系の選択制を導入する。
- ② 多様化する生徒の興味関心、進路に対応すべく、学年進行とともに教科内選択、教科間選択を設ける。
- ③ 各学年に学級固定習熟度制度（発展クラスと一般クラス）を実施する。
- ④ 習熟度別授業を取り入れて、きめ細やかな授業を展開する。
- ⑤ 令和7年度大学入学共通テスト出題内容に対応した編成を行う。

3 育成したい資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ① 育成したい生徒像
 - ・時代の変化に対応できる確かな学力と豊かな人間性を備えた知・徳・体の調和の取れた生徒【学徳】
 - ・何事も自主的・主体的に取り組むとともに、協働精神に富み創造性豊かな生徒【進取】
 - ・郷土を愛し、社会発展に貢献できるよう自己実現を目指す生徒【雄飛】
- ② 育成したい資質・能力
 - ・人とつながり合う力 ・自律力 ・課題発見対応力 ・自己実現に向かう力

【3】学校経営グランドデザイン

校 是：師弟同行

校 訓：学徳・進取・雄飛

教育目標

生徒一人一人の個性の伸長に努め、これからの時代に求められる優れた知性と道徳心を
 培い、創造性・国際性・協働性に富む人間性を育むとともに、郷土の自然と文化に誇りをもつ
 た主体的な生涯学習者としての資質を育成する。

本校の教育方針

- 1 師弟同行の精神で教職員と生徒の信頼関係を築き、民主的で地域に開かれた学校づくりに努める。
- 2 「学徳・進取・雄飛」を具現化する生徒の育成に努める。
- 3 教育環境の整備・充実を図り、安全で安心な学校づくりに努める。
- 4 協働体制の構築と強化を図り、丁寧かつ組織的な対応で生徒一人ひとりの能力の伸長に努める。
- 5 教職員の自己研鑽を奨励し、その資質能力の向上に努める。

【めざす学校像】

- 1 生徒が安心して明るく生き生きと活動する学校
- 2 教職員が教育活動にやり甲斐を感じる学校
- 3 保護者や地域社会の期待に応える学校

【めざす生徒像】

- 1 確かな学力と豊かな人間性を備えた知・徳・体の調和の取れた生徒【学徳】
- 2 何事も自主的・主体的に取り組み自己実現を目指す生徒。【進取】
- 3 郷土を愛し、他者と協働する事ができる創造性豊かな生徒。【雄飛】

【めざす教師像】

- 1 自己研鑽に努め、生徒の個性や能力を伸ばし、生徒の心に灯をともし教職員
- 2 保護者や地域社会との連携・協働、教職員間の連携・協働を意識的に取り組む教職員
- 3 本校の課題や諸問題に対し、組織的・継続的な取組をする教職員

今年度の努力目標

1 進路指導の充実

- ① キャリア教育を推進し、主体的に進路を選択する力を育成して、生徒一人一人の志ある自己実現を図る。
- ② 3年間を通じた計画的・組織的な進路支援・面談等に努め、進路決定率の向上を図る。
- ③ 諸書類の提出期限を厳守させるとともに、講話等により、社会人・職業人として自律する心構えを養う。

2 生徒指導の充実

- ① 生徒委員会活動を活性化させ、情報端末の利用マナーや自転車乗車の交通ルール・マナーの向上を図る。
- ② 生徒の自己管理能力を育成し、勤怠状況の改善と高校生としての基本的生活習慣の確立を図る。
- ③ 部活動の意義と教育課程との関連に留意し、適切な活動・運営に努める。

3 魅力ある教育活動

- ① 教育課程に基づく教育活動の質を向上させるとともに、学習効果を最大とするカリキュラム・マネジメントを推進する。
- ② 学校評議員制度や学校評価を活用した PDCA サイクルを機能させ、学校経営及び教育活動の改善を図る。
- ③ 地域の歴史と文化の理解を図り、その継承発展に資する教育活動を推進する。

4 教職員の資質・能力の向上

- ① 『問い』を軸にした学ぶ喜びのある授業改善に取り組む。
 ・ICT 機器を活用し、生徒の主体的・協働的な学びの場の導入
 ・生徒の実態把握(観点別評価等)に基づいた授業の構築
- ② OJT の視点に立った普段からの自己研鑽と先進校視察への積極的な教職員派遣を行う。
- ③ 実践的研究授業の共有を行う。

5 教育環境の整備事務の管理運営

- ① 危機管理体制の点検と周知、定期的な教育環境の点検・整備を図る。
- ② 学校図書館の充実、学校施設・設備と ICT 環境の整備など教育環境の整備・充実を図る。
- ③ 事務処理の迅速かつ的確化を図り、私費会計の適正化、学校勤務管理システムの適切な運用を推進する。

6 開かれた学校づくり

- ① 学校の教育情報を適切に発信し、PTA・同窓会(尚志会)及び他団体との連携を深め、保護者・地域に信頼される学校をめざす。
- ② 盛岡第四高校との姉妹校交流事業を推進する。米国交流事業の実施について検討する。
- ③ 将来の地域を支える人財の育成を図るために、関係機関との取組を強化する。